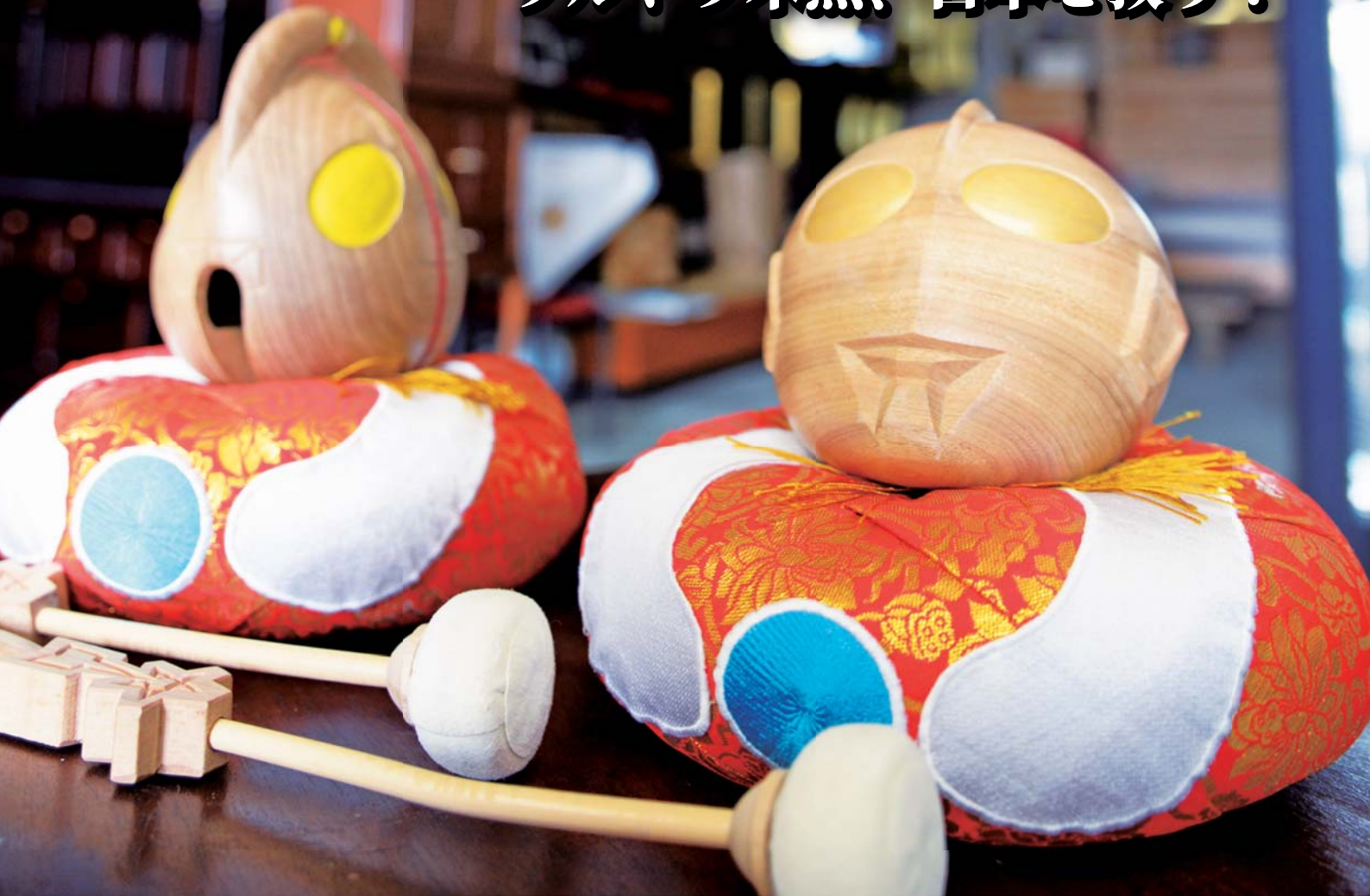


カステルな 僧侶たちの カマクラ

2014/2・3
Vol.27
Japan
since 2009.8

Special

～供養の国から僕らのために～
ウルトラ木魚、日本を救う！



Ayakaのヘルシー精進レシピ / 漫画「お坊さん日和。」
こちら僧医外来 / イベントインフォ"仏教体感" ETC

<http://freemonk.net>

27号 輪番編集長



いむら・えりこ

1981年生。さそり座の女。
幼い頃からなぜか、法事好き。
般若心経で聞き耳アワー。
歌舞伎同時解説イヤホンガイドの
解説員などをしながら、
のらりくらり生活中。

供養することを

子供が知るきっかけに

ウルトラ木魚がなれば

都築数明さん



特集

～ 供養の国から
僕らのために～

ウルトラ木魚 日本を救う!

取材・文 飯村絵理子

ウルトラ木魚、
誕生秘話。



光の国から僕らのために、来たぞ我らのウルトラマン、ともあるう英雄がバイ（木魚を叩くバチ）で叩かれるまま、ぼくぼく頭を鳴らしている。

「ウルトラ木魚」。昨年来、ネットや新聞で話題になっている、ウルトラマンの形をした木魚だ。ヴィ○ツジ・ヴァ○ガードなどで売っているおもしろ雑貨かと思われそうだが、木魚本体は、今や日本で十数名と言われる木魚職人のうち、名古屋に居られる職人が仕上げた逸品。カラータイマーまでデザインされた座布団は打敷職人が、科学特捜隊の流星バツジが彫られたバイは「三河仏壇」の彫刻師が手がけた。本気の遊び心のかたまりとも言



えるウルトラ木魚。仕掛人は、愛知県額田郡幸田町で仏壇屋を営んでいる、都築教明さん。自らも国指定の伝統工芸品「三河仏壇」を作る職人の一人だ。

「いろいろやってるよね、今」と、ポップカルチャーとの融合、コラボを進めていると語る都築さん。

「外国に日本の文化を紹介するのに、アニメや音楽などポップカルチャーと組み合わせるのが一番いいですよ。三河仏壇はマイナーですから。そのマイナーさを克服するには、知名度の高いものとコラボするんです」

昨年8月、東京・表参道で円谷プロ五十周年を記念したイベント「円谷プロ・クリエイティブジャム50」が開催され、気鋭のクリエイターたちが、ウルトラマンにインスピレーションを受けた作品を展示販売した。そこに誘われた都築さん。

「何作ろうか悩んでいたら、ふと店頭に並んでいた木魚が目に入ったんですよ。それで、あ、木魚ってウルトラマンぽいなと思って」

—— ひらめいた。

実は都築さんは、ウルトラマンの数あるエピソードの中でも異色と言われる、第35話「怪獣墓場」のある場面に感銘を受けていた。それは、ウルトラマンの倒した怪獣たちが眠る「怪獣墓場」の存在を知った科学特捜隊によって、

仏式で怪獣供養が行われる場面。都築さんは、ウルトラ木魚の制作を決めた。

「ウルトラマンは、京都の広隆寺にある弥勒菩薩をモデルに作られたという話があるんです。

M78星雲の光の国から、人間を救いにやってきた巨大な存在がウルトラマン。光の国は東方浄土。そう考えると、怪獣はマール（仏教における煩惱）。これは過大解釈ですけど（笑）。

「このことで、ウルトラマンと宗教用具は遠くないんだと思った。ウルトラマンという、絶対的な神が悪を懲らしめるという点では、キリスト教的だけど。ウルトラマンにも弱いところがあって、完全な善ではない。怪獣を倒すことに苦悩していく。そこに供養という日本の独特な考え方が現れてくる」

都築さんはデザイン画を描き、名古屋の木魚職人のもとへ。「こんなんでできますか」と尋ねると、木魚職人は「できるよ」と拍子抜けするほど軽い返事で引き受けてくれた。試作品があがってきたのは、2週間ほどあと。都築さんはそれを持って円谷プロへと向かった。そしてコワゴワ、ウルトラ木魚を提案し



たのだった。すると、円谷プロの方々はウルトラ木魚を、ぽくぽくと叩きはじめた。「これは面白い！ いい音だね」と、一気に場がなごんだ。

「人って意外と木魚を叩いたことがないことを発見したんですよ。しかも木魚を叩くと、みんな笑う。木魚の音は人をなごませるんです」

少しの修正が入ったものの、ゴーサインが出るのに時間はかからなかった。

ダジャレ道。



都築さんが作り出してきた「三河仏壇」は、愛知県三河地方に三百年続く伝統工芸品だ。金をふんだんに使い、彫り物など装飾の豪華なことが特徴の仏壇。私は現物を見た時、クローゼットなみの大きさに驚いた。核家族化など、現代の人々の生活スタイルは変わったうえ、仏壇の製造が安い中国に移りゆく今、三河仏壇とその職人たちは危機的状況に立たされている。

そこで、都築さんは2003年に、若手の三河仏壇の職人たちとともに、仏壇クリエイターズ・アートマン・ジャパンを結成。仏壇の使用用途を変えたり、仏壇を作る技術を転用して、今までにない新たな商品を発表してきた。

中へ入って瞑想や坐禅が組める仏壇「カンタカ」。武士道の潔さ格好よさを、仏壇に表現した「武壇」。亡くなった人の 아이폰 を、位牌のように仏壇に置けるケース「アイ牌」。人気漫画「宇宙兄弟」のトリビュート



アート展に出展したご本尊。あの世行きのH2ロケット（ホトケ・ツー・ロケット）。

「九割九分、ダジャレからアイディアが生まれています。あとは自分の中のブーム。自分のオリジナルの道を、この十年、突き進んできました（笑）。でも昔はそんな余裕はなかった。僕が三河仏壇を背負っているような時期があつて、三河仏壇の伝統を復興させようと必死で…」

ところが、現在は一変して気楽だという、都築さん。もっとも大きな分岐点となったのは、東日本大震災の被災地での位牌修復ボランティアだった。

仏壇は
どうでもいい。



2011年3月11日に起こった東日本大震災。都築さんは、かねてから交流のあつた



芸能プロダクション・大川興業の大川総裁の発案により、津波で流され傷ついた位牌や仏壇、仏具を修復するボランティア団体「セーブ・プレイ・ジャパン」を立ち上げた。定期的に被災地へ赴いては、瓦礫の中から救い出された位牌を、三河仏壇の技術を使ってきれいに修復し、持ち主のもとへ届ける活動を行ってきた。フリースタイルな僧侶たち主催の「経典をナナムから読む会」で集めた参加費の一部も、この「セーブ・プレイ・ジャパン」に寄付させていただいている。

「生きている人間の数だけストーリーがあるように、位牌の数だけ物語があると、位牌修復のボランティアを通じて感じたんです。ある位牌を直して持っていたとき、親族の方が『その位牌のおじいさんは戦時中、海軍に所属していて、海で命を落としてしまった。すると今度は、津波に（位牌が）のまれて傷ついてしまって…。海で二度死んだみたいですね』とおっしゃった。修復した位牌を渡すと、親族の方々は、おじいちゃんが戻ってきてくれたと喜んでくれました。その光景を見て、

ここに日本人の本質があるのかなと思っただけです。仏壇を使う側は、何より位牌が大事であつて、仏壇はどうでもいい。本尊が大事であつて、仏壇はどうでもいい。ならば究極的には仏壇は、フリースタイルでいいんじゃないかと」

この経験が、都築さんを、さらに自らの道へ突き進ませることになった。「仏壇の伝統的なスタイルを踏襲するよりも、それを作り出す技術を残すべきなんです。そして何より、供養する文化が、なし崩しに失われていってはいけない」

その思いは、ウルトラ木魚にも結集した。「子供がウルトラ木魚をぼくぼく叩いて、人形供養をしてほしいんです。亡くなつていくということ、供養することを子供が知るきっかけに、ウルトラ木魚がなれば」

光の国から、僕らのためにきた我らの木魚は、人の生死と供養を教えてください。

都築さんは、気負わず楽しみながら、日本人の新たな供養のスタイルを生み出していく。



有限会社 都築仏壇店
愛知県額田郡幸田町大草瓶割15-1
TEL 0564-62-6111
FAX 0564-62-4788
☎ 9:00～19:00 水曜休



祝!!
フリーペーパー大賞2013
審査員特別賞受賞
 授賞式に
 行ってきました!



上左／選考理由コメントをいただく関東支部の友光。
 上右／副代表であり関東支部長の増田もにっこり。
 下左／2013年受賞各誌の代表者で記念撮影。
 下右／京都からDTP班を代表して松下も参加。

2013年12月12日。東京・渋谷でフリーペーパー大賞2013の授賞式が行われました。

このフリーペーパー大賞は、2011年より経済産業省後援で開催されています。賞の種類もさまざまで、最も優れた媒体に贈られる「大賞」の他に、コンテンツやデザインに優れた「コンテンツクオリティ部門」、地域との親密性に優れた媒体を表彰する「地域密着部門」、観光誘致の促進に特化した「観光誘致部門」、創刊2年以内のインターネット媒体から選ばれる「新創刊部門」、約1ヶ月間行われる読者投票で選ばれる「読者投票部門」。そして弊誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」が受賞した「審査員特別賞」の7つ部門賞が設けられているまさに「フリーペーパーの祭典」なんです。

授賞式では、選考理由も合わせて発表があり、弊誌については「これしかない！」の第一声からはじまり「過去にここまでリアルな僧侶たちの姿に迫った雑誌はありません。僧侶たち自らが編集し、発行しているという点で大変希少価値の高い媒体」という内容から特別賞に選んでいただきました。選考理由や、懇親会で他媒体の方からいただいた感想などを聞くと、今回の受賞は「お葬式だけではない仏教の姿」が少しずつ伝わってきている証拠なんだと感じました。

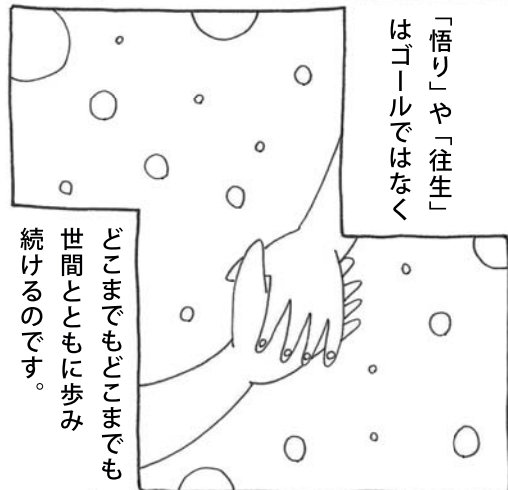
今後も読者のみなさま、サポーターのみなさまをはじめとする色々な方々のお力を借りながら、仏教が再び現代を生きる光となるよう編集部一同頑張りますので、よろしく願いたします。

お坊さん日和。

だいたひ話

さとりはゴール?

まんが mitsuaki



お

(※) 穢土 煩惱に満ちた世界。現世。私たちの住む世界。

トマトソースのパスタ

Ayakaのヘルシー精進レシピ



材料(2人分)

〈ソース〉トマト水煮缶 1缶 エシャロット 1個 オリーブオイル 大1
平打ちパスタ(乾麺) 160g 塩こしょう 適量
飾りとしてプチトマト、イタリアンパセリ

作り方

- 1 鍋にオリーブオイルを熱し、エシャロットのみじん切りを軽く炒める。そこにトマト水煮缶を加え、くずしながら大体半量になるまで煮る。
- 2 トマトソースを煮ている間にパスタをパッケージの表記時間より1分短くゆがく。
- 3 1のソースを塩胡椒で調味する。
- 4 湯切りしたパスタをソースとしっかり和える。
- 5 温めたお皿に盛り付け、プチトマトやイタリアンパセリなどを飾り、サーブする。

Ayakaのレシピは最終回となります。最後に何を精進としてご紹介しようかと悩みましたが、これは私が大好きで単純ないわゆる「お母さんのごはん」です。

レシピを連載しているうちに、あれよあれよと二児の母となりました。「ごはん」に対する気持ちが変わりつつの連載だったかと思います。みなさまが大切なひとにおいしい食事を作ってみようかな?という機会が少しでも増えることを祈って! どうもありがとうございました! またいつか!

こちら僧医外来

浄土宗西山禅林寺派光明院住職・田中医院院長
僧医 田中善紹



最終回。おわりにあたって

このコラムも10回目となりました。丁度区切りが良いところですので、こころあたりで一旦終わりにしたいと思います。このシリーズでは、現在の医学で特に問題となっている、胃ろう、看取りや遺伝子診断につき具体例を上げて考えてみました。

仏教と医学は人の世の長い歴史の中で、温度差はあっても何らかの形で関わってきました。どんどん医学が発達してきて、人の生死に関する問題を医学だけで解決できるものではありません。また、医学が発達していけばいくほど、そこには人を幸せにする本当の理念が必要になってくるものです。仏教がその役目を果たす出番が、これからも益々増えてくるものと思います。

我々僧侶もその期待に応えるべく、自らも研さんし社会からの要請に答えていく必要があり、また、人が生きている間にこそ、こちらからも積極的に人々に関わっていくことが大切です。この「フリースタイルな僧侶たち」のフリーマガジンは、これからの仏教界を担う若い僧侶達がこのような仏教の未来をみすえて始めた雑誌です。私自身は60才

を超え、後の人たちを育てる立場に知らないうちになってきました。この雑誌に登場する若い僧侶達や周りの人々は、それぞれの場で生き活きと自分なりのメッセージを発信すべく頑張っておられ、毎号、熱気あふれる内容で楽しんで読ませて頂いております。

私にできることとして、今後も現代の医学の中で問題になっているトピックスにつき私なりの考えを紹介し、「京の僧医」の立場から社会へ発信し続けて参りたいと思います。読者の方々が、今後迎えるかもしれない医学との接点の問題で、参考にして頂けたら幸いです。何か必要なことがありましたら、いつでも声をおかけ下さい。皆さんが答えを出す一助になれるかもしれません。

僧医外来、定例の法話会は下記ホームページで紹介しています。

「僧医外来」ホームページは
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/tanakazk/>

東京

忙しい女性のための 坐禅会

女性限定

静かな畳の部屋で坐禅を通し、疲れた心と頭の整理を試みませんか？

女性限定の坐禅会です。お一人でも参加いただけます。

- 講師：阿 純章（おかじゅんしょう）師 〈天台宗〉
- 参加者：女性限定 ●定員：30名 ●日時：2月4日（火）、3月11日（火）20:00～21:30 ●会場：仏教伝道センタービル7階 ●参加費：1回500円

※詳しくはFacebookをご覧ください。

👉  "BDK 坐禅会"

仏教聖典を 英語で学ぶ会

1回のみ参加でもOK!

日本語と簡単な英語を交えながら、仏教を学んでみませんか？

- 講師：ケネス・タナカ師 ●参加者：英語初級者（中級上級英語取得者及び外国人も大歓迎） ●定員：40名
- 日時：2月20日（木）、3月13日（木）18:30～20:00
- 会場：仏教伝道センタービル8階 ●参加費：1回500円

※事前申し込みが必要になります。

Facebookからもお申し込みいただけます。

👉  "BDK Buddhism Through English"

平成25年度第3回シンポジウム お寺ルネッサンス — 日本仏教寺院の役割とその可能性 —

3回目となる今回は「寺院の役割」に着目し、「お寺ルネッサンス」という言葉で日本寺院の潜在性を主張される上田紀行氏を講師に迎え、今後の寺院の役割とその可能性について考えていきます。



- 講師：上田紀行氏（東京工業大学教授）
- 定員：100名
- 日時：2月21日（金）18:00～20:00（17:15開場）
- 会場：仏教伝道センタービル8階「和」の間
- 参加費：500円

※参加費は東日本大震災の義損金として全額寄付いたします。

※事前申込が必要です。申込期限は2月10日（月）必着です。尚、お電話でのお申込みは受け付けておりませんので、FAXまたはメールにてお申込みください。詳細は仏教伝道協会ホームページをご覧ください。

【主催】 公益財団法人



仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝 4-3-14 <http://www.bdk.or.jp>
Tel: 03-3455-5877 E-mail: bdk@bdk.or.jp
Fax: 03-3798-2758

2/4
他

東京

SOULFUL お念佛！ 関東ブロック浄土宗青年会『念佛大会』



先人の心を感じる伝承念佛奉納を3月1日、大本山増上寺にて行います。

慈覚大師円仁によって中国五台山より伝承された「六字誥念佛」、福島県いわき市周辺に古くから伝わる郷土芸能「じゃんがら念佛」、信仰の喜びを念佛をとなえつつ表現した「一向上人躍躍念佛」。この3つの念佛を奉納いたします。肌で、心で感じる一日を体感してみたいかがでしょうか。

日時：3月1日（土）13:00～（12:30開場）

会場：大本山増上寺講堂

東京都港区芝公園 4-7-35

※都営地下鉄大門駅 徒歩8分、JR浜松町駅 徒歩10分

参加費：無料 どなたでも参加できます！

お問い合わせ先：050-3553-7676

3/1

東京

東京禅僧茶房 2014 ～「うれしい」をあなたに～



若手僧侶たちがプロデュースする、身近な生活に生かせる仏教を学ぶイベント「東京禅僧茶房 2014」を青山で開催します。

テーマは、思いやりをもって他者に施していくという仏教の教えの「布施」。

自然と生まれる「うれしい」の連鎖を、ワークショップやプチ坐禅会などを通じて体感し、楽しく生きるエッセンスとして仏教の教えに触れてみてはいかがでしょう。

日時：2月28日（金）、3月1日（土）、3月2日（日）
11:00～19:00

会場：福井県アンテナショップ『ふくい南青山 291』
東京都港区南青山 5-4-41

※都営地下鉄大門駅 徒歩8分、JR浜松町駅 徒歩10分

参加費：無料

お問い合わせ先：曹洞宗総合研究センター教化研修部門
「Shojin-Project」

Tel: 03-3454-6844（火～金 10:00～17:00）
HP: <http://www.shojin-project.com/2014.html>

2/28
他

大阪

こども劇場 ひかる響きのコンサート ～いのる音色をきいてみよう～

こんな演奏会、みたことない! 「祈りの音色」= 声明・雅楽・讃美歌が楽しめるファミリーコンサート。

荘厳な雰囲気の色音が聴けるだけでなく、宗教曲以外の演奏や、みんなで歌うコーナーなども。

楽しみながら、明るい未来を願うこと= 祈ること、に思いをはせるひとときを過ごしませんか? お子さま連れだけでなく、おとなひとりでも大歓迎!

日時: 3月9日(日) 14:00～15:00(開場 13:30)

会場: 大阪市立こども文化センター ホール
大阪市西区北堀江 4-2-9

※大阪市営地下鉄「西長堀」駅より徒歩1分

出演者: 【声明】 近松真定(浄土真宗本願寺派) ほか

【雅楽】 大阪楽所

【讃美歌】 浜崎高子(ピアノ伴奏: 川島洋一)

【司会】 露の団娘

入場料: こども(0歳～中学生) 500円 ※膝上無料
おとな 1,000円

※事前にお申込みが必要です。申込方法について、詳しくは下記URLをご参照ください。

定員: 434名(固定座席)

主催: 大阪市立こども文化センター

問合せ: 大阪市立こども文化センター(月曜休館)

TEL: 06-6531-5975

FAX: 06-6531-1679

URL: <http://www.ko-bun.jp>

3/9

大阪

箱舟、発進!!! いの☆フェス関西 2014



「いのり☆フェスティバル(いの☆フェス)」は毎年恒例のキリスト教会版「コミケ」or「学園祭」で、教会・団体・企業・学校・個人のためのフリーマーケットです。

「違い」はきっと「間違い」じゃない! 信じる宗教が違ってきてもきっと対話は可能。「フリースタイルな僧侶たち」もブース出展します。

日時: 3月8日(土) 13:00～18:00

場所: 日本基督教団東梅田教会

大阪市北区野崎町 9-6

※JR大阪駅より徒歩10分

入場料: 無料

主催: いのフェス関西 2014 実行委員会(有志)

企画: 「教会女子のガールズトーク★」

牧師 × シスター × 准教授

「次世代宗教家の生でダラダラいかせて!!(仮)」

※詳しくは「いの☆フェス」ホームページ

<http://www.inofest.com>

3/8

京都

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーく話す会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいこと等、何でも結構です。

もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。

お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

日時: 3月2日(日) 14:00～16:30

会場: 四条京町家 2F

京都市下京区郭巨山町 11(四条通西洞院東入ル)

075-255-0801

※阪急京都線烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅 下車

西へ徒歩5分、四条通の北側

会費: 1,000円(フリスタ会員は800円)

定員: 10名

主催: フリースタイルな僧侶たち



※フリースタイルな僧侶たちホームページよりお申し込みください。

3/2

京都

『俱舎論』を8年間かけて読む会

仏教の基礎を学んでいくプロセスを、「桃栗三年柿八年」ということわざをもじって「唯識三年俱舎(くしゃ)八年」という言葉で呼ぶことがあります。

「俱舎」とは、インドの学僧世親が遺した著書『阿毘達磨俱舎論(あびだつまくしゃろん)』であり、その中にはこの世の成り立ちや私たちの心のあり方について細かく分析的に述べられています。「仏教辞典」として、初心者も専門家も常に机上に置いておきたい一冊です。

2年間にわたり「経典をナナムから読む会」を実施し、多くの経典を楽しく味わってきましたが、本年からは、「俱舎」をひもといて一つ一つの仏教語の奥行きをゆるやかに味わっていきます。どうぞ気軽におつきあいください。

第1回 2月8日(土) 19:00～21:30

第2回 3月1日(土) 19:00～21:30

会場: フリースタイルな僧侶たちオフィス

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002号室

会費: 1,500円(フリスタ会員は1,300円)

※うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。

定員: 10名



フリースタイルな僧侶たちホームページよりお申し込みください!

2/8
他

編集後記

「ウルトラ木魚の取材へ行くから、いきませんか」とお誘いをうけ、ついた先は仏具版ディズニーランドだった。都築仏具店。

どこを見ても面白いものがあった上、都築数明さんご自身がエンターテイナー。話に引き込まれる。聞き入りすぎて、取材を忘れる。とりわけ位牌と仏壇の関係性についての話は、人生30年ちょい、全く考えたことのないもので衝撃的だった。これは非力さから今回の特集に入れこめず残念…。

あの日の都築さんから湧き出た言葉と感覚を、なるべく忠実に文面にしたいと思っていた。しかし、スケールが大きすぎて入りきらなかった。都築さんはそれだけの力強さがある方です。

初めて巻頭の記事を担当させてくれたフリストメンバー、手に取って読んでくださったみなさま、ありがとうございました！



27号輪番編集長 飯村絵理子



読者のみなさまからのお便りを紹介！

フリストではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はメールで届いたお便りからのご紹介です。



お坊さんがカッコいい！私も同感です。聖職でもありますし、神秘的な雰囲気もあり惹かれますね～。清少納言さんもイケメン好みとは初耳でした。『道』というのは技術的なことにとどまらない修行」という言葉が心に響きました。書くというのは自分を見つめる良い機会になりますね。

また、愚痴を聞いてくれる学生さんがいるなんて嬉しいですね～。愚痴って一番本音が出ると思うし、それで自分の心の癖にも気がつくんじゃないかな。私も「アラサー僧侶とゆるーく話す会」に参加させていただいてますが、いつも心も体も軽くなり、洗われるようです。

(A・Mさん・兵庫県)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、またWebサイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先：

フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002号室

FAX：075-777-9579 Email：info@freemonk.net



フリースタイルな僧侶たちとは

「仏教＝葬式」とあなたは思っていますか？

しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。

「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ二千五百年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようと志してのことです。

本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につ

ながることもあるかもしれません。その際には、みなさまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを通じていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いいたします。

志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしております。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中!!

協賛年会費 5千円(個人) / 3万円(法人)

※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。※法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

お問い合わせ先

TEL：075-555-5730 FAX：075-777-9579

Email：info@freemonk.net

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
- 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)
- 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
- 日光寺 (東京都台東区・臨濟宗)
- 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
- 圓融寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 吉祥寺 (山口県萩市・浄土宗)
- 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
- 慶蔵院 (三重県伊勢市・浄土宗)
- 光照院 (東京都台東区・浄土宗)
- 光照寺 (大阪府大阪市東淀川区・浄土真宗本願寺派)
- 光徳寺 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)
- 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)
- 光明寺 (奈良県吉野郡・浄土真宗本願寺派)
- 金剛寺 (京都府京都市東山区・浄土宗)
- 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
- 西楽寺 (京都府京都市伏見区・浄土宗)
- 茶坊えにし (東京都台東区)
- 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
- 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
- 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)
- 常楽寺 (新潟県岩船郡・曹洞宗)
- 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
- 正法寺 (京都府京都市東山区・時宗)
- 勝楽寺 (東京都町田市・浄土宗)
- 正蓮寺 (静岡県伊豆の国・真宗大谷派)
- 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
- 瑞聖寺 (東京都港区)
- 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
- 善道寺 (北海道札幌市・浄土宗)
- 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
- 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
- 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)
- 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
- 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
- 藤之寺 (兵庫県神戸市・浄土宗)
- 法岸寺 (静岡県静岡市・浄土宗)
- 宝華山廣讚寺 (岐阜県瑞穂市・浄土真宗東本願寺派)
- 寶松院 (東京都港区・浄土宗)
- 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)
- 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
- 法然院 (京都府京都市左京区)
- 寶満寺 (千葉県銚子市・浄土真宗本願寺派)
- 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
- 本覺寺 (神奈川県横浜市・天台宗)
- 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)
- 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
- 陽岳寺 (東京都江東区・臨濟宗)
- 龍岸寺 (京都府京都市下京区・浄土宗)
- 一般社団法人 日本石材産業協会 (東京都千代田区)
- 遠藤新兵衛商店 (京都府京都市下京区)
- 株式会社 アールアンドダブリュー (京都府京都市中京区)
- 株式会社 京美仏像 (京都府京都市北区)
- 株式会社 兼寿堂 (兵庫県神戸市)
- 株式会社 寺の友社 (京都府宇治市)
- 京都坊主BAR (京都府京都市中京区)
- 寺院コム (京都府京都市左京区)
- 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)
- ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所 (京都府京都市中京区)

※ 五十音順に表示しています
※ 協賛は随時受け付けています

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に
広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中 (ホームページで確認できます)！
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様：A4サイズ・12頁・カラー
発行部数：11,000部 (2014年2月現在)

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

定休日 水曜日

営業時間:11:30~14:00/17:00~22:00

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1





Hamaia
**浜屋は
 関西最大級の
 お仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。**



浜屋は個人情報保護する企業を示す
 プライバシーマーク取得企業
 です。

やすらぎの世界を創る



お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
 イロイロクヨー
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ●奈良王寺店/大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代 | ●西宮店/171歳・下大市 ☎(0798)51-2211代 |
| ●奈良生駒店/近鉄・生駒駅北 ☎(0743)83-2211代 | ●芦屋店/JR・山側西 ☎(0797)35-1194代 |
| ●岸和田店/2階・西之内 ☎(072)445-2211代 | ●三田店/三田・対中町 ☎(079)559-2211代 |
| ●堺鳳店/第2・阪和沿 ☎(072)261-2211代 | ●神戸本店/元町・4丁目 ☎(078)371-2211代 |
| ●藤井寺店/近鉄・藤井寺 ☎(072)954-2211代 | ●新長田店/JR・新長田 ☎(078)621-2211代 |
| ●駒川店/中野・交差点 ☎(06)6709-2211代 | ●明石店/森友・交差点 ☎(078)927-2211代 |
| ●中興東大飯店/近鉄・西岩田 ☎(06)6783-2211代 | ●加古川店/JR・駅南側 ☎(079)426-2211代 |
| ●榎屋川本店/石津・交差点 ☎(072)829-2211代 | ●高砂店/羽姫幹線・中島 ☎(079)443-2211代 |
| ●成方家具園地店/長尾・家興町 ☎(072)836-2211代 | ●姫路本店/駅前・御幸通 ☎(079)282-2211代 |
| ●高槻店/高槻・紺屋町 ☎(072)683-2211代 | ●福崎店/福崎町・役場 ☎(0790)22-2211代 |
| ●茨木店/茨木・大手町 ☎(072)622-2211代 | ●網干店/網干・浜国沿 ☎(079)272-2211代 |
| ●豊中店/豊中・郵便局前 ☎(06)6848-2211代 | ●龍野店/龍野・大橋東 ☎(0791)62-2235代 |
| ●川西店/川西・火打2 ☎(072)759-2201代 | ●赤穂店/赤穂・塩屋東 ☎(0791)45-2211代 |
| ●伊丹店/阪急・駅前西 ☎(072)775-2211代 | ●山崎店/兵庫・山崎町 ☎(0790)62-5171代 |
| ●尼崎店/阪神・駅南側 ☎(06)6413-2211代 | ●浜屋漆工芸製姫路・土山町 ☎(079)293-2211代 |

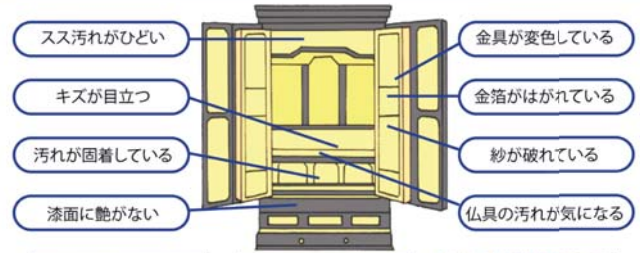
■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

京都北白川 **一步堂** IppoDou



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。
 お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<屏修復>



<外屏磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄((株)メイククリーンお仏壇本舗加盟店)

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… [京都 仏壇 一步堂] で検索!



公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ:http://tomoiki.jp

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索



フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成26年2月1日発行 第27号

発行元 フリースタイルな僧侶たち編集部

〒600-8119

京都府京都市河原町通五条下ル本塩竈町583-5
 kawaramachi place 1002号室

tel: 075-555-5730

fax: 075-777-9579

e-mail: info@freemonk.net

http://freemonk.net

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます

題字

しらたきなべお

アートディレクション & DTP

松下美佐子 梅本龍青

輪番編集長

飯村絵理子

総指揮

池口龍法